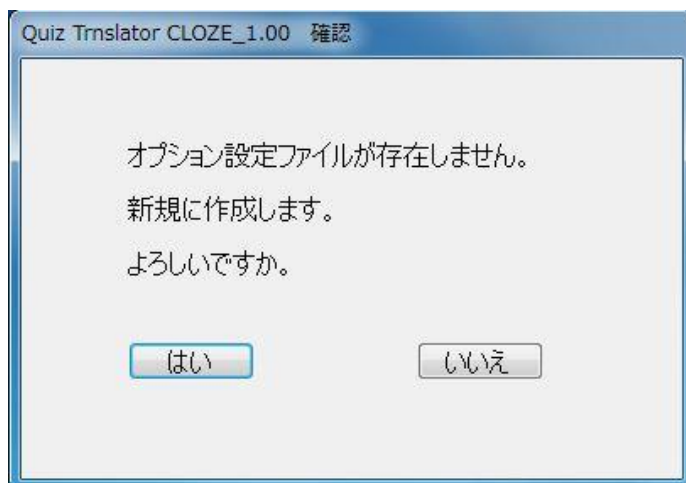


Moodle 穴埋めテスト問題変換ツール

Quiz Translator CLOZE の使い方




1. Quiz Translator CLOZE の起動

1. QT_Cloze.exe をダブルクリックして起動させます。
2. 初回のみ、次のダイアログが表示されます。「はい」をクリックしてください。



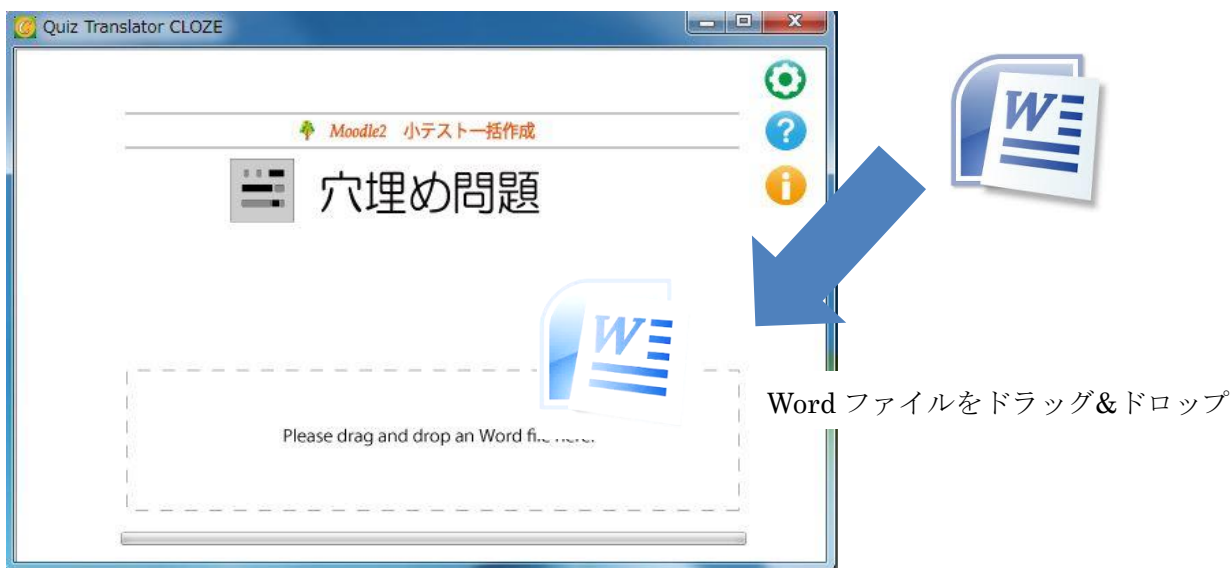
3. アプリケーションの画面が表示されます。



-  オプションの設定画面を開きます。
-  オンライン・ヘルプを表示します。
-  バージョンなどを表示します。

2. Word ファイルから XML 変換

1. 作成した穴埋め問題ファイル (Word) を Quiz Translator CLOZE 内にドラッグ&ドロップします。



2. Moodle の XML 形式に変換されたファイルが自動的に作成され、元ファイルと同じ場所に保存されます。

2-1 作成元ファイルと作成されるファイル

Quiz Translator CLOZE 内にドラッグ&ドロップすると、XML ファイルおよびビューア表示フォルダが作成されます。

【Word ファイルから XML ファイルの変換例】



元ファイル : w-サンプル.docx (穴埋め問題の Word ファイル)

作成ファイル等 : w-サンプル.xml (Moodle XML 形式ファイル)

w-サンプル-View (ビューア表示ファイルフォルダ)

※ 注意事項

Quiz Translator CLOZE による Word ファイルの変換を行う際、開かれている Word ファイルがあると、自動的に閉じられるので注意してください。

2-2 設定情報の表示

オプション設定により、小テストの問題を Moodle に掲載した状態を表示するビューア機能にて確認することができます。

また、記述・多肢選択問題の詳細設定が行えます。

2-3 HTML ビューア機能での閲覧画面

HTML ビューア画面で、小テストの問題を Moodle に掲載した状態を表示します。

3. Word 形式データの書式

行頭の空白、タブは取り除いて処理します。

制御記号の大文字・小文字および半角・全角は原則として区別しません。

行頭に「//」のある行はコメント行です。

3-1 問題バンクのカテゴリの指定

Word 文書の先頭に「\$\$/」とカテゴリ名を記述すると、Moodle にアップデートした時に、指定した問題バンクのカテゴリに小テスト問題を格納させることができます。

【カテゴリ指定時の記述例】

\$\$/穴埋め問題のデフォルト

【カテゴリ指定時の XML 変換例】

```
<quiz>
<!-- question: 1 -->
<question type="category">
  <category>
    <text>$course$/穴埋め問題のデフォルト</text>
  </category>
</question>
<question type="cloze">
```

3-2 問題の記述

行頭に「問題」がある行以降を問題とみなします。

3-3 問題名の記述

問題の開始行のテキストが問題名になります。

問題名の「問題」以降を、Moodle の XML ファイルでの question: number になります。

「問題」以降のテキストが数値でない場合は、問題の出現順番号が question: number になります。

3-4 問題文

問題名の次の行から、次の「問題」が出現するまでを問題文とみなします。

コメントおよび末尾の空白行は無視されます。

3-5 問題形式

穴埋め問題の記述式、選択肢式および数値式問題に対応しています。

3-6 記述式問題の記述

① 空欄の指定と正答

黄色の蛍光ペンの文字飾りを施した部分を空欄とし、当該箇所の内容が正答です。

【記述例】

各測定値と平均値との差の 2 乗和を平方和という。

② 複数の正答の指定

正答を 2 つ以上設定する場合は、「|」で区切って語を並べます。

【記述例】

Kgf 単位を N 単位に換算すると、重力加速度を乗じる | かける。

③ 100%以外の配点指定

正答が2つ以上ある場合に、100%以外の配点を指定する際は[%割合%]のように記述します。

【記述例】

白川郷・五箇山の合掌造り集落 | %50%合掌造り集落

④ 誤答

正答以外を * で指定します。

【記述例】

平方和#正解です | *#間違っています

⑤ 英文字の大文字・小文字の区別

英文字の大文字・小文字を区別するか、しないかは、オプション設定で指定します。

⑥ 選択肢リストの自動作成とリスト表示

選択肢の候補リストを自動的に作成して、問題下部に表示するか否かはオプション設定で指定します。

選択肢の候補リストは、すべての正答を合わせたリストです。

リストの表示順序は、オプション設定で指定します。(ランダムまたは文字コード順)

⑦ ダミーリストの追加

選択肢の候補リストを作成する際に、すべての正答を合わせたリストに任意(ダミー)リストを追加することができます。

追加リストは、行頭に「++」がある段落に記載された内容です。

【記述例】

That is the building **where** my brother lived for 12 years when she studied abroad.

++ what,when,which

※ 問題下部に表示される選択肢リスト : where, what, when, which

3-7 選択肢式問題の記述

① 選択肢の指定

ピンクの蛍光ペンの文字飾りを施した部分が選択肢となります。

② 選択肢リストの自動作成(ダミーリストの自動作成)

選択肢が単一の場合、問題内の設問で単一の選択肢を合わせたリストが、選択肢リストです。

【記述例】

センサにより得られた信号波形をコンピュータによって処理する場合、**アナログ**信号として得られた出力を**デジタル**信号に変換する必要がある。この信号変換の際、**サンプリング間隔**が短ければそれだけ時間軸が細分化され、波型の近似がよくなる。

※ 選択肢リスト : アナログ, デジタル, サンプリング間隔

③ 選択肢での項目を指定(選択肢要素の指定)

選択肢が、「|」で区切られた場合、蛍光ペン選択部分すべての要素を合わせたリストが選択肢リストです。また、最初の選択肢が正答です。

【記述例】

標準偏差が未知の母集団から得られたデータによって求められた平均値に差があるか否かを調べたいときに用いる分布は、**t分布 | F分布 | 二項分布 | ポアソン分布**である。

※ 選択肢リストの正答は : t分布

④ ダミーリストの追加

選択肢の候補リストを作成する際に、すべての正答を合わせたリストに任意（ダミー）リストを追加することができます。

追加リストは、行頭に「++」がある段落に記載された内容です。

【記述例】

標準偏差が未知の母集団から得られたデータによって求められた平均値に差があるか否かを調べたいときに用いる分布は、**t分布**である。

++ F分布,二項分布,ポアソン分布

※ 選択肢リスト：**t分布**，**F分布**，**二項分布**，**ポアソン分布**

3-8 数値式問題の記述

① 空欄の指定

水色の蛍光ペンの文字飾りを施した部分を空欄とし、当該箇所の内容が正答です。

【記述例】

工学系である 500Kgf を SI 単位に換算すると、**4905N** となる

② 複数の正答の指定と許容範囲

100%以外の配点を指定する際は[%割合%]のように記述する 100%以外の配点を指定する際は[%割合%]のように記述します。許容範囲がある場合は、正答の後に「:」と許容値を記述します。

【記述例】

工学系である 500Kgf を SI 単位に換算すると、**4905 : 0 | %50%4905 : 5N** となる

3-9 個別フィードバックの記述

蛍光ペンの文字飾りを施した部分で正答または選択肢の後に「#」と個別フィードバックを記述します。

【記述例】

記述式：各測定値と平均値との差の 2 乗和を**平方和#各測定値から算術平均値を引いた値の 2 乗の和**という。

※ 個別フィードバック：**各測定値から算術平均値を引いた値の 2 乗の和**

数値式：**24.5:0#正解です | %50%24.5:0.1#数値の丸め方**

※ 個別フィードバック：**数値の丸め方**

3-10 全般に対するフィードバックの記述

全般に関するフィードバックの記述は、問題文の最後から、行頭に「問題」が出現するまで間の、行頭に [[を記述します。次に、全般に関するフィードバックの内容を、次行から記述します。全般に関するフィードバックの記述後、次行の行頭に]] を記述します。

※ “[[” および “[”]” は一行として記述します。

【記述例】

[[

Kgf は工学系の単位、SI 単位は国際計量単位系に係る計量単位です。

500Kgf の質量は $500\text{Kgf} \times 9.821/9.81$ (gc/g) = 500Kg である。ゆえに $500\text{Kg} \times 9.81\text{m/s}^2 = 4905\text{N}$ となる。gc=9.81 で重力換算係数、g はその地点の重力加速度をいう。

]]

4. マルチメディアを利用したデータの作成

4-1 貼り付け画像の利用

問題文、全般に対するフィードバックに、画像を挿入することが可能です。

図は、独立した段落に挿入し、文字の折り返し設定は「行内」としてください。

(「行内」以外の折り返し設定の図は無視されます。)

ただし、図形(テキストボックスを含む)とワードアートは利用できません。

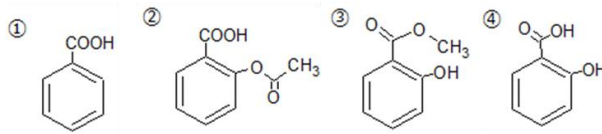
また、1行内に複数の図を貼りこむことはできません。

(1行内に複数の画像を貼り付ける場合は、複数の画像をグループ化し、一つの画像として貼り付けてください。)

【画像挿入時の記述例】

問題 2

空欄に化合物名を日本語で答えなさい。



① **安息香酸**は、清涼飲料等の保存料として添加されているほか②の原料です。

② **アセチルサリチル酸**は、消炎・解熱・鎮痛剤として用いられる。

③ **サリチル酸メチル**は、高濃度では貼付剤として、関節痛・筋肉痛などのケアに用いられる。

④ **サリチル酸**とメタノールの合成で化合物③が合成できる

【画像を挿入した場合の表示例】

4-2 画像、音声、動画の挿入

問題文、全般に対するフィードバックに、画像および音声、ビデオを挿入することが可能です。

{{ }}タグで囲んで箇所が、メディアファイルの挿入箇所です。

{{ }}の中に、ファイル名とALT情報を記入します。

ALT情報は省略可能です。ファイル名とALT情報の間に空白を入れてください。

【画像、音声、動画の挿入の記述例】

{{benzoic_acid.png “画像”}} 画像ファイル

{{hy26.mp3 “音声”}} 音声ファイル

{{waterfall.mp4 “ビデオ”}} ビデオファイル

{{djw7oZXe8zs “YouTube”}} YouTube

① メディアファイルの種類は、拡張子によって自動的に判断されます。

② メディアファイルは、通常 Word ファイルと同じフォルダ内に置きます。

※ 問題ファイルの下の階層にメディアファイルを置く場合は、フォルダ名の後に¥をつけてフォルダ名を指定します。

【ファイル名を階層に置く場合の記述例】

{{move¥waterfall.mp4 “ビデオ”}}

【音声ファイルの記載例】

問題 4


上の句にあう下の句を答えなさい。

{{hy30.mp3 “hy30”}} わが衣手は露にぬれつつ | あらわれ渡る瀬々の網代木 | ながくもがなと思ひけるかな | わが衣手にゆきはふりつつ

【音声ファイルの表示例】

問題 7
未解答
最大評点 1.00
▼ 問題にフラグ付けする
⚙ 問題を編集する

上の句を聞いて、下の句を答えなさい。



下の句

【動画ファイルの表示例】

問題 5
未解答
最大評点 1.00
▼ 問題にフラグ付けする
⚙ 問題を編集する

ビデオを見て、空欄に適する語を下のリストから選んで入れなさい。



この滝は、富山県にある です
選択肢リスト: 華巖の滝、称名滝、仙娥滝、華巖の滝

【動画 (YouTube) ファイルの表示例】

問題 7
未解答
最大評点 1.00
▼ 問題にフラグ付けする
⚙ 問題を編集する

次のビデオを見て空欄を埋めなさい
富山大学は 年に富山大学、富山医科薬科大学、高岡短期大学が再編統合した新しい大学です。

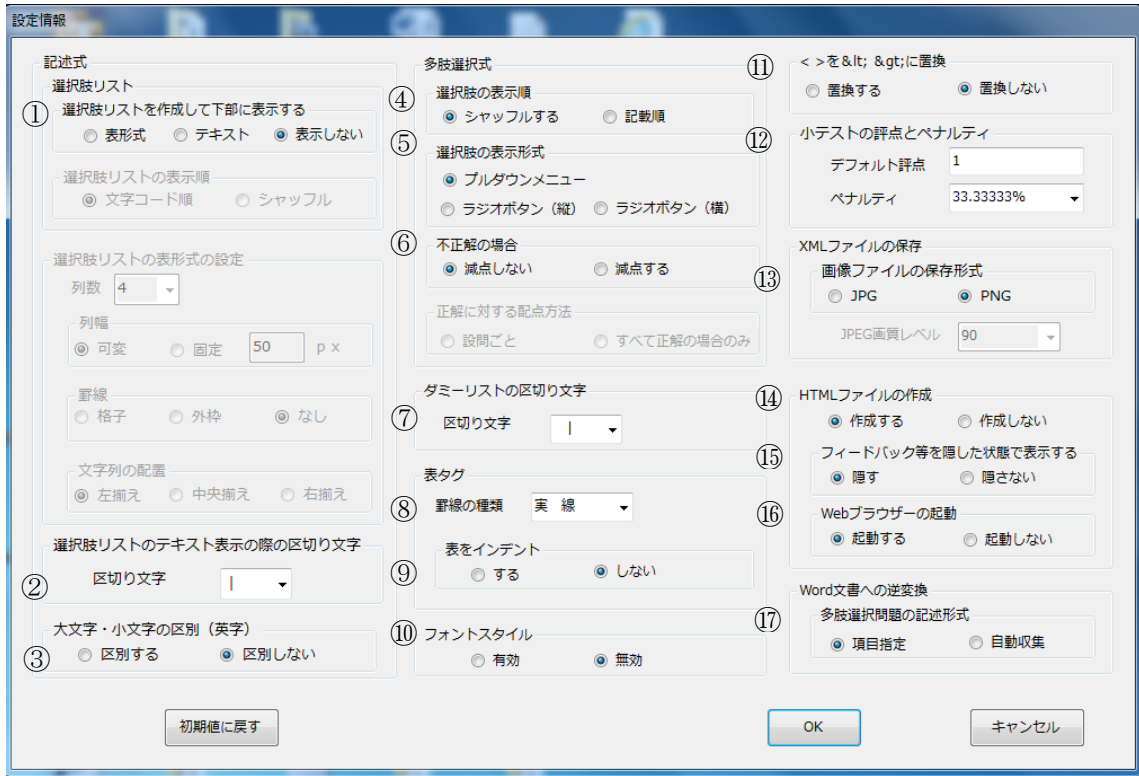


Tom's TV イントロダクション 【富山大学キャンパスレポ】

富山大学

高岡キャンパス 五福キャンパス 杉谷キャンパス

5. オプションの設定



※「初期値に戻す」を選ぶと、オプションの設定を最初の状態に戻すことができます。

① 選択肢リストを作成して下部に表示する

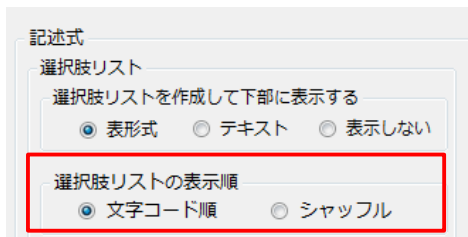
記述式の場合、問題の下部に選択肢リストとして、を「表形式」、「テキスト」または「表示しない」を指定できます。

選択肢リストを作成して下部に表示する「表形式」または「テキスト」を指定した場合、選択肢リストの表示順を指定できます。

選択肢リストの並び順（文字コード順、順不同）を指定できます。

文字コード順：文字コード順に表示

シャッフル：順不同に表示



選択肢リストの表示順

【表形式】

表形式を指定した場合、選択肢リストの表形式の設定を行います。

列数：列数を指定します。

列幅：可変または固定をすることができます。固定を指定した場合、列幅のピクセルを指定します。

罫線：罫線の有無、格子または外枠罫線を指定します。

文字の配置：表内の文字位置を指定します。

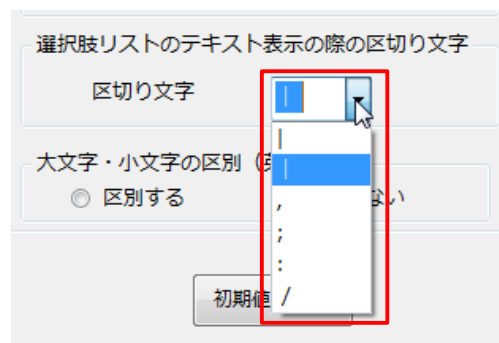
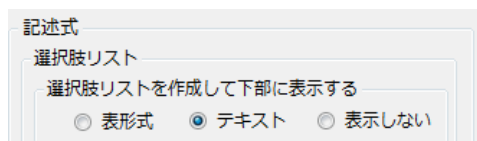
文字位置は、左揃え、中央揃え、右揃えをしています。



選択肢リストの表形式の設定

② 選択肢のテキスト表示の際の区切り文字

テキストを指定した場合、選択肢のテキスト表示の際の区切り文字を指定します。区切り文字は、「|」、「|」, 「,」, 「;」, 「:」, 「/」です。



選択肢リストのテキスト表示の際の区切り文字

③ 大文字・小文字の区別(英字)

記述式で英字での記述する場合、「大文字」または「小文字」の区別を指定します。

④ 選択肢の表示順

多肢選択肢問題形式の表示順を指定します。

記述順：記述した順に表示

シャッフル：順不同に表示

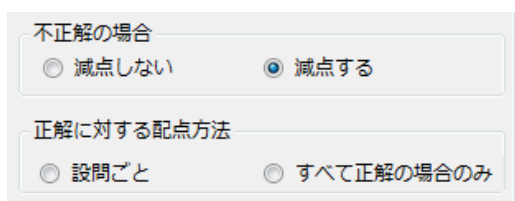
⑤ 選択肢の表示形式

選択肢の表示形式として、「プルダウンメニュー」、「ラジオボタン (縦)」または「ラジオボタン(横)」を指定することができます。

⑥ 多肢選択問題 不正解の場合

多肢選択問題で、不正解の場合、「減点する」または「減点しない」を指定できます

多肢選択問題で、不正解時減点するとした場合、「設問毎」または「すべて正解」時に配点とするこの指定ができます。



正解に対する配点指定

⑦ 多肢選択 ダミーリストの区切り文字

多肢選択肢に、ダミー選択肢を追加する際の選択肢の区切り文字を指定します。
区切り文字は、「|」、「|」、「,」、「;」、「:」、「/」です。



ダミーリストの区切り文字

⑧ 表タグの利用 罫線の種類

罫線種類を指定します。

「罫線なし」、「実線」、「点線」、「破線」、「二重線」の罫線を指定することができます。

また、「Word 罫線」を選択した場合、Word での罫線の種類に合わせた罫線をできます。

ただし、「罫線なし」、「実線」、「点線」、「破線」、「二重線」以外の罫線の場合は、「実線」となります

⑨ 表をインデントする

表の「インデントする」または「インデントしない」を指定します。

表をインデントするとした場合、左マージン 30px が設定されます。

⑩ フォントスタイル

文字飾りの変換を有効に「する」または「しない」を指定します。

対応している文字飾り：下付き、上付き、斜体、太字、下線、取り消し線、文字の色、文字の背景色
ただし、文字色蛍光ペンで装飾を施した範囲のフォントスタイル変換はできません。

⑪ <> を> <に置換

「<」、「>」をエスケープ文字への置換を指定します。

⑫ 小テストの評点およびペナルティの指定

最大評点のデフォルト値をおよびペナルティを指定します。

ペナルティは、「複数受験インタラクティブ」または「アダプティブモード」動作を使用して問題を実行する場合、学生が不正解の後に再度回答する場合の問題評点の減点の割合を示します。

⑬ 画像ファイルの保存形式

Word に貼り付けた画像ファイルの形式を「JPEG」または「PNG」のどちらかを指定します。

JPEG 画像を指定した場合は、JPEG 画像のレベル値を選択して指定します。

⑭ HTML ファイルの作成

変換終了後に、小テストの問題を Moodle に掲載した状態を疑似的に再現して表示するための HTML ファイルを同時に「作成する」または「作成しない」を指定します。

⑮ フィードバック等を隠した状態で表示する

変換終了後に作成する HTML ファイルのブラウザ表示を指定した場合、フィードバック等を隠した状態で「表示する」または「表示しない」を指定します。

⑩ Web ブラウザーの起動

変換終了後に Web ブラウザーを起動して、作成した HTML ファイルを「表示する」または「表示しない」を指定します。

⑪ Word 文書逆変換 多肢選択の記述式

多肢選択問題を Word 文書に逆変換する場合、「問題毎の選択肢を合わせたリスト形式」または、「選択肢を、「|」で区切った要素の選択肢リスト」にするかを指定します。

項目指定とした場合、選択肢が、「|」で区切った要素を合わせた選択肢リスト記述に変換されます。

なお、単一リストにした場合、正答以外の解答は、ダミーリストに変換されます。

6. 表の利用

問題文に表を挿入することができます。

Word 文書内に表を作成し、オプションで表を選択すると表タグに変換されます。

表を選択した場合、罫線の種類を指定します。

表を利用する場合は、表を表示する行を確保してから、表を作成してください。

セルの内容をヌルにしないでください（表内は必ず文字を入力してください 空白 1 文字でも可）。

セル内で改行した場合、改行までの文字列しか変換されません。

6-1 表を利用するためのオプション設定

オプション設定の表タグを「利用する」を選択し、罫線の種類を選択します。

表をインデントしたい場合は、表をインデント「する」を選択します。

表のセル内に、問題文と穴埋め問題を一緒に記述することはできません。（表を利用した問題例を参照）

【表の記述例と罫線の選択例】

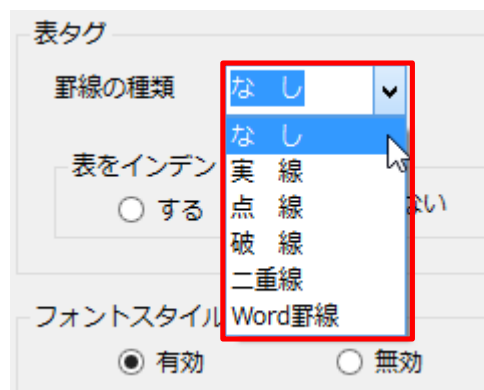
問題 1

次の県庁所在地を漢字で答えなさい。

	県名	県庁所在地
1	岩手県	盛岡市
2	群馬県	前橋市
3	愛媛県	松山市
4	島根県	松江市

セル内が NULL

誤った記述例



罫線の選択

問題 1

次の県庁所在地を漢字で答えなさい。





1	岩手県	盛岡市
2	群馬県	前橋市
3	愛媛県	松山市
4	島根県	松江市

表の記述例

Moodle での表示例

問題 2

次の化合物名（和名）を答えなさい





1		安息香酸
2		サリチル酸
3		サリチル酸メチル
4		アセチルサリチル酸

表の記入例（画像の挿入）

問題 2

未解答
最大評点 4.00
問題にフラグを付ける
問題を編集する

次の化合物名（和名）を答えなさい

1		<input type="text"/>
2		<input type="text"/>
3		<input type="text"/>
4		<input type="text"/>

Moodle での表示例（画像の挿入）

7. 選択肢の表示

選択肢問題の場合、選択肢の表示として、プルダウンメニュー、ラジオボタン（縦）、ラジオボタン（横）で表示させることができます。

問題 1

次の化学物質のうち、作業環境における経費吸収による中毒を起こさないものはどれか。

一酸化炭素 | アクリルアミド | ニトログルコール | 臭化エチル | 四エチル鉛

問題の記述例

多肢選択式

選択肢の表示順
 シャッフルする 記載順

選択肢の表示形式
 プルダウンメニュー
 ラジオボタン（縦） ラジオボタン（横）

問題 1
最大評点 1.00

問題名: 問題1

次の化学物質のうち、作業環境における経費吸収による中毒を起こさないものはどれか。

- 一酸化炭素
- アクリルアミド
- ニトログルコール
- 臭化エチル
- 四エチル鉛

全体に対するフィードバック:

プルダウンメニュー指定時のビューア表示例

多肢選択式

選択肢の表示順
 シャッフルする 記載順

選択肢の表示形式
 プルダウンメニュー
 ラジオボタン（縦） ラジオボタン（横）

問題 1
最大評点 1.00

問題名: 問題1

次の化学物質のうち、作業環境における経費吸収による中毒を起こさないものはどれか。

- 一酸化炭素
- アクリルアミド
- ニトログルコール
- 臭化エチル
- 四エチル鉛

全体に対するフィードバック:

ラジオボタン(縦)指定時のビューア表示例

多肢選択式

選択肢の表示順
 シャッフルする 記載順

選択肢の表示形式
 プルダウンメニュー
 ラジオボタン（横） ラジオボタン（縦）

問題 1
未解答
最大評点 1.00
問題にフラグを付ける
問題を編集する

次の化学物質のうち、作業環境における経費吸収による中毒を起こさないものはどれか。

- アクリルアミド ニトログルコール 一酸化炭素 四エチル鉛 臭化エチル

ラジオボタン(横)指定時の Moodle 表示例

8. XML から Word ファイルの変換

1. Moodle XML ファイルを Quiz Translator CLOZE 内にドラッグ&ドロップします。



2. Word ファイルが自動的に作成され、元ファイルと同じ場所に保存されます（画像以外のマルチメディアファイルは別ファイルとして作成されます）。

【XML ファイルから Word ファイルの変換例】



元ファイル：w-サンプル.xml（Moodle XML 形式ファイル）
作成ファイル：w-サンプル.docx（Word 穴埋め問題ファイル）

【XML ファイルの内容(変換前)】

```
<quiz>
  <!-- question: 1 -->
  <question type="cloze">
    <name>
      <text>問題1 </text>
    </name>
    <questiontext format="html">
      <text><p>次の空欄を埋めなさい。</p><p>Kgflは、{1:MULTICHOICE:=工学系~SI}単位
      です。500Kgflを{1:MULTICHOICE:=SI~工学系}単位に換算すると、
      {1:SHORTANSWER_C:=重力加速度} (9.81m/s<sup>2</sup>)を
      {1:SHORTANSWER_C:=乗じた~%100%かけ算した~%100%かけた} 値で
      {1:NUMERICAL:=4905:0~%50%4905:5} Nとなる</p></text>
    </questiontext>
    <generalfeedback format="html">
      <text>Kgflは工学系の単位、SI単位は国際計量単位系に係る計量単位です。500Kgflの質量は
      500Kgfl×9.821/9.81(gc/g)=500Kgである。ゆえに
      500Kg×9.81m/s<sup>2</sup>=4905Nとなる。g<sub>c</sub>=9.81は、重力換
      算係数、glは、その地点の重力加速度をいう。</text>
    </generalfeedback>
    <penalty>0.3333333</penalty>
    <hidden>0</hidden>
  </question>
</quiz>
```

【Word ファイルの内容 (変換後)】

問題 1

次の空欄を埋めなさい。

Kgfは、工学系SI単位です。500KgfをSI工学系単位に換算すると、重力加速度(9.81m/s²)を乗じた|かけ算した|かけた値で4905.0| %50%4905.5Nとなる。

↵

[[

Kgfは工学系の単位、SI単位は国際計量単位系に係る計量単位です。500Kgfの質量は500Kgf×9.821/9.81 (gc/g) =500Kgである。ゆえに500Kg×9.81m/s²=4905Nとなる。gc=9.81は、重力換算係数、gは、その地点の重力加速度をいう。

]]

【表を利用した XML ファイルの内容 (変換前)】

```
<quiz>
  <!-- question: 1 -->
  <question type="cloze">
    <name>
      <text>問題1</text>
    </name>
    <questiontext format="html">
      <text><p>次の県の県庁所在地を漢字で答えなさい。</p><table
        style="margin-left: 0px; border:solid 1px
        #000000;"><tr><td style="border: solid 1px
        #000000;">1</td><td style="border: solid 1px #000000;">
        岩手県</td><td style="border: solid 1px #000000;">
        {1:SHORTANSWER:=盛岡市}</td></tr> <tr><td
        style="border: solid 1px #000000;">2</td><td
        style="border: solid 1px #000000;">群馬県</td><td
        style="border: solid 1px #000000;">{1:SHORTANSWER:=前橋
        市}</td></tr> <tr><td style="border: solid 1px
        #000000;">3</td><td style="border: solid 1px #000000;">
        愛媛県</td><td style="border: solid 1px #000000;">
        {1:SHORTANSWER:=松山市}</td></tr> <tr><td><td
        style="border: solid 1px #000000;">4</td><td
        style="border: solid 1px #000000;">島根県</td><td
        style="border: solid 1px #000000;">{1:SHORTANSWER:=松江
        市}</td></tr></table><p></p></text>
    </questiontext>
    <generalfeedback format="html">
      <text/>
    </generalfeedback>
    <penalty>0.3333333</penalty>
    <hidden>0</hidden>
  </question>
</quiz>
```

【表を利用した Word ファイルの内容 (変換後)】

問題 1

次の県の県庁所在地を漢字で答えなさい。

1	岩手県	盛岡市
2	群馬県	前橋市
3	愛媛県	松山市
4	島根県	松江市

↵